

「我らの主に向かって」

(ピリピ2:11)

われらの主に向かって 新しい歌を歌おう

喜びの声をあげよ 主はわれらの勝利

われらの主に向かって 新しい歌を歌おう

喜びの声をあげよ 主はたよれるお方

イエスは主(イエス) イエスは主(イエス)

この賛美もってほめたたえよう———

イエスは王(イエス) イエスは王(イエス)

この賛美もってほめたたえよう

90 栄光イエスにあれ

栄光 栄光 イエスにあれ

栄光 栄光 イエスにあれ

み座にいます 小羊よ

ほむべきお方

あなたはすべおさめる

とわに正義をもって

新聖歌38番 「わが目を開きて」

- 1 わが目を開きて さやに見せ給(たま)え
今まで知らざりし 聖書(みふみ)の真実(まこと)を
* われ今 静かに わが主を待つなり
主よ与えたまえ 悟(さと)りを

- 2 鈍(にぶ)き耳なれど 声をかけたまえ
ただ主の御言葉に 従いまつらなん * (くりかえし)

- 3 主よ わが唇(くちびる) 解(と)きて歌わしめ
たえなる御恵みを 伝えしめたまえ * (くりかえし)
アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌233番 「驚くばかりの」

- 1 おどろくばかりの 恵みなりき
この身の汚(けが)れを 知れるわれに
- 2 恵みはわが身の 恐れを消し
任(まか)する心を 起こさせたり
- 3 危険(きけん)をも わなをも 避(さ)け得(え)たるは
恵みのみわざと 言(ゆ)うほかなし
- 4 御国(みくに)に着く朝 いよいよ高く
恵みの御神(みかみ)を たたえまつらん

アーメン

新聖歌354番 「迷えるとき光を」

- 1 迷えるとき 光を 疲れしときいのちを
祈らば答えをたもう 主は救い主なり
- * 重荷もなく迷いもなき 旅路ぞ楽しき
共にいますキリストこそ わが身の神なれ
- 2 まことと愛とに満ち 約束なししことを
必ずなしとげたもう 主は救い主なり（*）
- 3 いずこに我が行くとも いかなる地に住むとも
守りの手をのべたもう 主は救い主なり（*）

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン